

プレキャスト化 事例紹介

ボックスカルバート端部  
ウイングのプレキャスト化

令和 9年 1月 19日



岩手県コンクリート製品協会

1

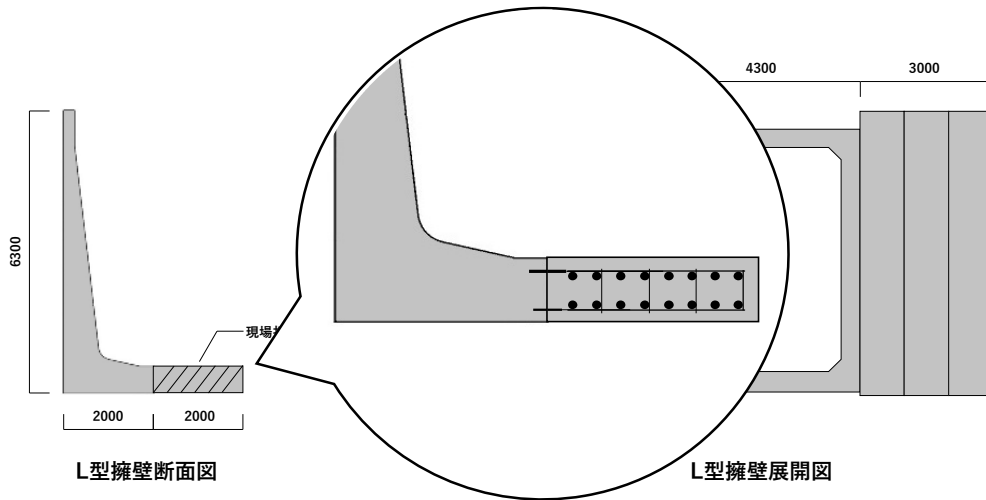
L型擁壁

- 概要： L型擁壁（車道用） H6300 ボックスカルバートのウイングとして使用
- 採用理由： 当初、ボックスカルバートと共にウイング部も現場打で発注をされたが  
人手不足と工期短縮を図る為プレキャスト化とした。
- 特長： 底版部は安定計算により底版長さを決定し、製品部B=2000以上の部分は現場打ち  
コンクリートで築造（H7000まで可能）



2

数量・規模：数量は上流側6本、下流側6本の計12本使用。



製品の特長  
底版継足しはFDグリップを採用し、製品搬入を可能にした。

3



擁壁荷降ろし、起上げ状況



基礎への仮置き

4



施工状況

5



底版コンクリート打設後



- ・搬入ルートは大型車可ではあったが施工ペースを考えた時に1日6台（朝3台午後3台）必要となり、待機場所や運転手の連携を取るのに苦労があった。
- ・電線を避けながらの荷降しとなった為、時間を要した。
- ・カルバートは縦断勾配なり、擁壁は水平に施工で基礎高さも違い段差が生じる為、管理に苦労した。

6





現在の状況

7



8